

漁況情報 No.6

平成 18 年 7 月 4 日発行

岩手県水産技術センター 漁業資源部

Tel : 0193-26-7915、Fax : 0193-26-7920、E-mail : CE0012@pref.iwate.jp

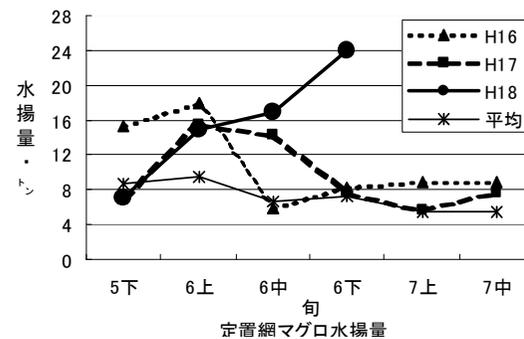
* 本報は当センターホームページ (<http://www.pref.iwate.jp/hp5507/>) に掲載しています。

<< トピックス >>

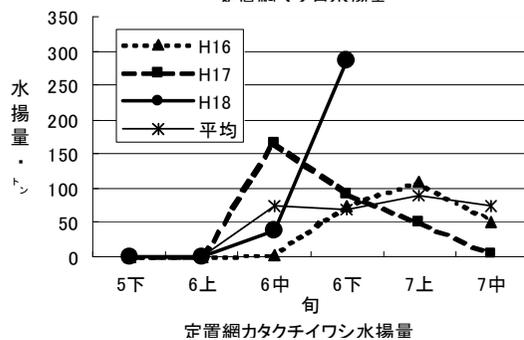
クロマグロ(定置網)の水揚げが引き続き好調です。
 カタクチイワシ(定置網)の水揚げが好調です。
 スルメイカ(いか釣り)は低調に推移しています。

1. 水揚げ状況

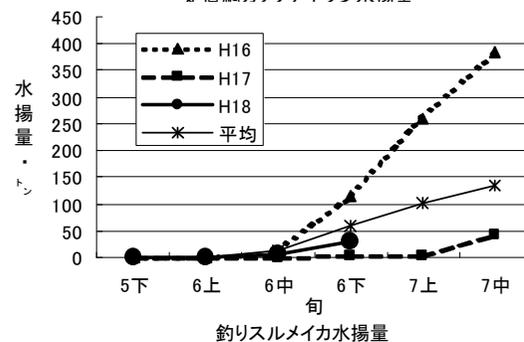
(1) クロマグロ(定置網)は県中部・南部を中心に水揚げがありました。6月下旬の水揚げ量は23.9トン(前年の3.1倍)、年累計は67.3トン(前年の1.4倍)でした。また、6月下旬の過去5年間の平均水揚げ量は7.3トンで、旬水揚げはその3.3倍でした。



(2) カタクチイワシ(定置網)は久慈を中心に水揚げがありました。6月下旬の水揚げ量は287トン(前年の3.1倍)、年累計は327トン(前年の1.3倍)でした。また、6月下旬の過去5年間の平均水揚げ量は69.9トンで、旬水揚げはその4.1倍でした。



(3) スルメイカ(いか釣り)の6月下旬の水揚げ量は29.3トン(前年の8.2倍)、年累計は36.6トン(前年の10.3倍)であり、水揚げの少なかった前年を上回りました。しかし、6月下旬の過去5年間の平均水揚げ量は57.6トンで、旬水揚げはその51%でした。



* 水揚げ状況は主要6港(久慈、宮古、山田、大槌、釜石、大船渡)の集計です。

2. 調査結果、その他の情報

(1) サンマ精密測定結果

6月下旬に釜石魚市場に水揚げされたサンマ(定置網による漁獲)の精密測定を行いました。本年は定置網でのサンマの水揚げが多く、6月下旬の水揚げは5.7トン(前年の204倍)、年累計は8.3トン(前年の65倍)でした。

体長のモードはオスで30~31cm、メスで31cmとややメスが大きい傾向がありました(図1)。また、メスのほとんどが生殖腺重量3g以上で成熟していました(サンマのメスは生殖腺重量が3g以上で成熟(完熟)とされています、図2)。肥満度は平均4.4と秋のサンマに比べてやや低い(やせている)傾向が見られました(秋のサンマの肥満度は4.6前後、図3)。

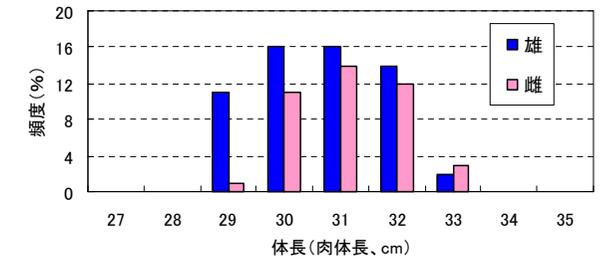


図1 サンマ体長組成

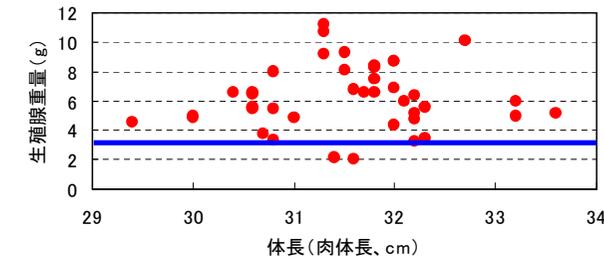


図2 サンマ(メス)生殖腺重量

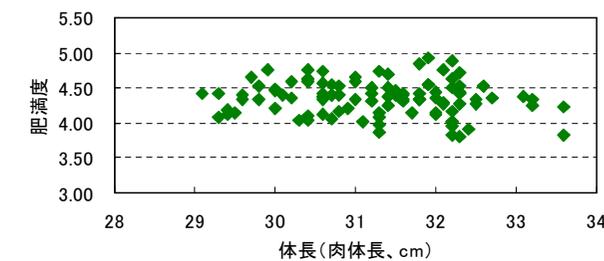


図3 サンマ肥満度

3. 調査船調査計画(7月)

	調査内容	調査期間
岩手丸	沖合定線海洋観測調査	7/3~7
	サンマ漁期前漁場一斉調査	7/10~14
	イカ類漁場調査	7/18~21
	底曳網調査	7/24~28
北上丸	タコ類カゴ標識調査	7/3、5
	アイナメ延縄調査	7/4
	イカ漁場調査	7/6~7、/12~14、/24~26
	仔稚魚・動物プランクトン調査	7/10~11、/27~28
	カニ、カゴ調査	7/18~21
	刺網調査	7/31

「フィッシャリィ・ネットいわて」(<http://www2.suigi.pref.iwate.jp/>)で、日別・市場別・魚種別の水揚げ状況、定地水温などを検索できますので、こちらもご活用下さい。